

日本医療検査科学会 医療情報委員会

令和 8 年度 第 1 回委員会 議事録

1. 日時：2026 年 5 月 9 日（土）13:00~14:00
2. 場所：福岡市 九州大学病院地区キャンパス 第 2 薬局棟 2F 会議室 3
(Zoom 併用)
3. 現地参加（敬称略）：湯地、中島、萩原、大川、田中
Web 参加（敬称略）：野坂、宮坂、佐藤、島井、片岡、長原、瀬戸山、増田
欠席（敬称略）：古賀、吉川
4. 配布資料
2026 年度第 1 回医療情報委員会議事次第
【資料 1】2025 年度第 2 回医療情報委員会議事録
【資料 2】2025 年度第 7 回医療情報技術セミナー アンケート集計結果
【資料 3】2026 年度 医療情報委員会名簿
【資料 4】2026 年度医療情報委員会活動計画
5. 議事
 - 1) 前回議事録（2025 年度第 2 回委員会）の確認（資料 1）
資料 1 に基づき湯地委員長より報告がなされ、委員からの発言は無かった。
 - 2) 報告事項
 - (1) 2025 年度第 7 回医療情報技術セミナー アンケート集計結果（資料 2）
 - (2) 2026 年度医療情報委員会名簿（資料 3）
 - (3) 2026 年度医療情報委員会活動計画（資料 4）
資料 2, 3, 4 に基づき湯地委員長より報告がなされ、委員から発言は無かった。
 - (4) 湯地委員長より、島井 健一郎 先生（慈恵医療科学大学）の新任について報告があった。
 - (5) 湯地委員長より、野坂先生（国際医療福祉大学）、瀬戸山先生（北海道大学）の施設移動の報告があった。
6. 審議事項
 - 1) 湯地委員長より技術セミナーテーマとして、以下が提案された。
 - ・ JLAC11 関連
 - ・ 医療 DX 関連
 - ・ 一次利用と二次利用の理解

また、昨年度の技術セミナーにおけるアンケートでは、以下の要望が多いことも共有された。

- ・ ハンズオン
- ・ 大規模データベース
- ・ 医療 AI
- ・ Python 活用

2) 2026 年度医療情報セミナーテーマについて、各委員より意見を伺った。

- ・ Python を活用した医療データの利活用や AI 活用をテーマとするハンズオン
- ・ 政府の動向により医療申請、診療報酬に影響が出る。そのために JLAC11 関連や医療政策などを抑えておくこともテーマとして重要である。
- ・ 昨年度のローカル LLM 講演の続編として、通常の PC でも利用可能となった技術進歩について講演することは可能である。
- ・ JLAC11 関連、診療報酬の改定に関連したテーマ良いのではないかな。
- ・ Python によるデータ解析は、AI エージェントの進化により良くなっていると感じる。その辺りを伝えられると良いのではないかな。
- ・ 臨床検査部門の業務効率化、研究利用を目的とした Python 活用が良いのではないかな。また、診療報酬の改定は社会的に理解されつつあるが、この流れを進める状況が加速している。病院経営の観点から診療報酬改定の背景にある病院の経営統合、再編という国の方針に踏まえ、臨床検査技師やデータ利活用者に向けたメッセージを発信してはどうか。
- ・ 技術セミナーはテクニカルな側面を重視し、参加者が実際に手を動かせる内容を目指してはどうか。Python によるデータ解析を実際に行ってもらうのも良いと思う。セミナーへ参加した方々が、その内容をもとに実運用に活かしてみようと思えるような内容が望ましい。
- ・ ノンコーディングツールやローコードツールといった、コーディング不要なツールなど、簡単な手法から始められる初心者向けの技術セミナーも必要。
- ・ ハンズオン開催の要望は高い一方で、過去には参加者のスキル差で課題についていけず、途中退席する参加者もいたことが告げられた。

3) 湯地委員長より総括が述べられた。

方向性としては Python の活用、JLAC11、技術的ハンズオンを中心にテーマを考え、これらを基に委員の先生方に協力をいただき、講演者を決めていきたい。

4) その他

湯地委員長より、10月に行われる委員会と技術セミナーの日程について報告があった。

2026年度 第2回医療情報委員会

日時：2026年10月10日（土）9:00～10:00

2026年度 医療情報技術セミナー

日時：2026年10月10日（土）10:10～11:40

会場：第1会場（メインホール・683席）

セミナー時間：90分

文責 田中